

2015年3月11日

「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー 2014」  
『優秀賞』と『優秀企業賞』をダブル受賞！  
アイフルホームは5年連続受賞！  
～優れた省エネ性能と、省エネ住宅の普及活動に高い評価～

株式会社LIXIL住宅研究所アイフルホームカンパニー(住所:東京都江東区亀戸 1-5-7/代表取締役社長:今 城幸)では、このたび、一般財団法人日本地域開発センター(主務官庁:国土交通省)が主催する、省エネルギー性の優れた住宅を選定する表彰制度「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2014」において、アイフルホームの『セシボ』・『セシボ(北海道仕様)』で優秀賞を受賞しました。さらに3回以上の連続受賞となるため「優秀企業賞」も同時に受賞しました。

「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」は、省エネルギーやCO<sub>2</sub>削減等へ貢献する住宅の普及と質的向上の促進を目的に、建物外皮と設備を一体とした省エネルギー性と、販売実績や設計・施工における標準化やコスト対策といった普及性を評価し、優れた住宅を表彰する制度です。



具体的には、(1)外皮・設備の省エネルギー性能値、(2)多様な省エネルギー手法の導入、(3)省エネルギー住宅の普及への取り組みの3つの視点を基準に評価し、優秀と認められた住宅が表彰されます。

アイフルホームの『セシボ』・『セシボ(北海道仕様)』は、風や光の活用などパッシブエネルギーを上手に利用した住宅を提案。節湯・節水機器、LED照明などの省エネ設備の利用、さらには屋根・壁への遮熱対策により、エネルギーの消費を抑えた商品が省エネルギーへ貢献するものとして評価されました。

◆受賞内容◆

カンパニー名	アイフルホーム	
受賞名	優秀賞	優秀賞
商品名	「セシボ」 <受賞対象地域> 3-7地域※	「セシボ(北海道仕様)」 <受賞対象地域> 1-2地域※
特別表彰	優秀企業賞	

※省エネルギー基準による地域区分

株式会社LIXIL住宅研究所アイフルホームカンパニーは、「こどもにやさしい は みんなにやさしい」をコーポレートスローガンに掲げ、「アイフルホーム」ブランドの住宅フランチャイズチェーンを全国に展開しています。

【報道関係者のお問合せ先】

(株)LIXIL住宅研究所 広報・宣伝部 担当:千明(チギラ)  
電話:03-5626-8251 メール:chigirak3@lixil-jk.co.jp  
アイフルホーム ホームページ/TOP URL:<http://www.eyefulhome.jp/>

## 【参考1】

### 優秀賞 アイフルホーム「セシボ」(3-7 地域)

『セシボ』は、「こどもにやさしい は みんなにやさしい」をコンセプトにキッズデザイン  
の考え方を取り入れ、「全ての世代にやさしい家づくり」を考えて開発した住宅です。  
環境問題、安全性、快適な室内環境、住宅保証、経済性、そして家族の絆と夢など、  
住宅が解決しなければならない問題を見つめ「家そのもので出来ること」の可能性を  
“もっと ずっと”追求した住まいです。特に環境問題に対しては低炭素社会の実現  
に向け「省エネルギーから“少”エネルギーへ※」に向けた提案を行っています。

※省エネルギー:無駄なエネルギーを使わないこと。少エネルギー:少ないエネルギーで暮らすこと



#### ●建物外皮・設備機器について

建物外皮性能は、外皮平均熱貫流率( $U_A$  値)、冷房期の平均日射熱取得率( $\eta_A$  値)とも 3-7 地域の各基準  
値をクリアする性能とし、暖冷房、換気設備等の設備機器については、高効率機器を採用し、一次エネルギ  
ーの消費量を抑える取り組みを実施しています。

#### ●多様なエネルギー手法の導入について

『開ける技術』として、空調負荷低減を目的にパッシブエネルギーを積極的に活用。温度差換気により高窓か  
ら排熱するための工夫や、断熱玄関ドア(採風タイプ)や縦すべり出し窓を多用し、屋内に風を取り込みやす  
い工夫を採用しています。これに間取りの開放性、吹き抜けの採用、通風室内建具などの室内側での工夫を  
加え、通風・創風、採光など、自然の力を生かしたできるだけ電力を使わない少エネルギーの提案を行って  
います。

『閉じる技術』として、外皮性能はもとより、屋根には遮熱屋根材・オリジナル遮熱工法を、壁には遮熱シートを  
採用し、外気による影響を抑えて暖冷房効率を高めることで快適性とエコ生活を両立します。

その他『省エネ技術』の導入として、キッチン、洗面での節湯・節水に配慮したエコハンドル水栓、保温浴槽、  
節水型便器の採用や LED 照明などの採用により省エネルギーに配慮しています。

#### ●省エネルギー住宅普及への取り組み

お客様により省エネルギーな暮らしをご提供するため初期支出 0 円で搭載できる太陽光発電サービスを提案。  
また、新しい省エネルギー基準の普及・浸透のため、 $U_A$  値・ $\eta_A$  値を簡易に計算できるアイフルホームオリジ  
ナルの計算ソフトを開発し、運用するなど、様々な取り組みで省エネ住宅の普及に取り組んでいます。



<アイフルホーム「セシボ」外観・内観>



<通風・創風イメージ>



<通風室内建具(右オープン・左クローズ)>

## 【参考2】

### 優秀賞 アイフルホーム「セシボ(北海道仕様)」(1・2 地域)

キッズデザインの考え方を取り入れた「全ての世代にやさしい家づくり」を考へて開発した『セシボ』をベースに、寒冷地域である1・2地域にあわせた断熱性能を確保した外皮性能・設備機器としています。環境問題、安全性、快適な室内環境、住宅保証、経済性、そして家族の絆と夢など、住宅が解決しなければならない問題を見つめ「家そのもので出来ること」の可能性を“もっと ずっと”追求した住まいです。特に環境問題に対しては低炭素社会の実現に向け「省エネルギーから“少”エネルギーへ※」に向けた提案を行っています。

※省エネルギー：無駄なエネルギーを使わないこと。少エネルギー：少ないエネルギーで暮らすこと



#### ●建物外皮・設備機器について

建物外皮性能は、外皮平均熱貫流率( $U_A$  値)、冷房期の平均日射熱取得率( $\eta_A$  値)とも 1・2 地域の各基準値をクリアする性能とし、暖冷房、換気設備等の設備機器については、高効率機器を採用し、一次エネルギーの消費量を抑える取り組みを実施しています。

#### ●多様なエネルギー手法の導入について

セシボ(3-7 地域)と同様、パッシブエネルギーを積極的に活用し、風や光などの自然の力を活用した、できるだけ電力を使わない配慮を提案しています。

また、寒冷地にあわせた外皮性能を確保するため、断熱材にはLIXILと共同開発した高性能断熱パネル「ハイクオリティパネル(HQP)」を採用し、外気による影響を抑えて暖冷房効率を高めることで快適性とエコ生活を両立します。



<アイフルホーム「セシボ(北海道仕様)」外観>



<アイフルホーム「セシボ(北海道仕様)」内観>